

ポーカーの遊び方



株式会社 **ジーピー**
URL www.gp-inc.jp
TEL 03-3950-8801 FAX 03-3950-8895
© 2010 GP Inc.

世界のトーナメントで、優勝賞金、参加人数、どちらも世界最大なのは、実はポーカーなのです。ポーカーフェイスという言葉から日本でも馴染み深く、今では「テキサスホールデム」というルールで世界的なポピュラーゲームとなりました。ギャンブルとしてだけでなく、知的ゲームとしても楽しまれているゲームです。

注意事項
※ポーカーには様々なルールが存在しますが、一般的に遊びやすいルールを記載しました。
※賭博行為は違法です。賭博行為をされて何らかの損害やトラブルが生じても、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

◆ゲームの目的

全員で賭けを行いながら、5枚のカードで**1番強い「役」を作った人が勝ち**です。賭けられたチップは勝者の総取りとなります。この説明書では「テキサスホールデム」でルールを解説します。

ポイント:チップの賭け方(勝ち方のコツ)

ポーカーは、チップを使った「賭け」が鍵となります。一般的に、賭けたチップの量は手札の強さを表します。勝てると思えば途中でチップを増やすことができます。他の人はそのチップを見て、自分の方が強いと思えば同額、またはそれ以上の額を賭けられます。または弱いと思えば勝負を降りることができます。その場合、途中まで賭けたチップは戻りません。しかし、チップを多く賭けた人が必ずしも「強い役」とは限りません。弱い役でもチップの量をつり上げて、全員を勝負から降ろしてしまえば勝つことができます。このようにポーカーは心理戦がおもしろいゲームでもあります。時にはポーカーフェイスで勝負を楽しんでみてください!

◆ゲームの準備

ルールの詳細は次ページ参照

- ①チップを全員に等しく配ります。(端数は使いません)
- ②親(ディーラー)を決めます。親はシャッフルしてカードを配ります。(通常ジョーカーは使いません)

他のゲームと違い、ポーカーの親は銀行役ではありません。動作をする際の「起点」という意味で使われています。つまり、親もプレイヤーであり、またゲームごとに時計回りに交代します。

カードの役 (最初にカードの「役」をしっかり覚えてください)

ワンペア 同じ数字が1組揃う組合せ	
ツーペア 同じ数字が2組揃う組合せ	
スリーカード 同じ数字が3枚の組合せ	
ストレート 5枚の数字が番号順の組合せ ※マークがバラバラの場合	
フラッシュ 同じマーク5枚の組合せ ※数字がバラバラの場合	
フルハウス 同じ数字が3枚とワンペアの組合せ	
フォーカード 同じ数字が4枚の組合せ	
ストレートフラッシュ 5枚の数字が番号順で、全てが同じマークの組合せ	
ロイヤルストレートフラッシュ ストレートフラッシュで数字が一番大きい組合せ	

◆同じ役が出た場合の強弱
2名以上で同じ役が出た場合は、一番強いカードを持っている人が勝ちとなります。

←強い【カードの強さ】弱い→
A、K、Q、J、10、9、8、7、6、5、4、3、2

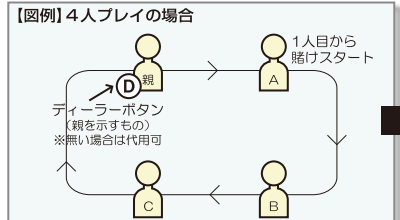
【補足】:賭けの基本ルール

ゲームの途中で「賭け」が数回行われます。ポーカーの賭けの基本は**参加者全員が同額になるまで賭ける**ことです。同額になったら1回の賭けが終了し、ゲーム中の次のステップに移ります。具体的には、自分の番で以下のことができます。

- ①様子見でパスする :チェック (0枚を賭ける)
- ②1枚以上チップを賭ける :ベット
- ③同額になるように賭ける :コール
- ④上乗せする :レイズ
- ⑤さらに上乗せする :リレイズ
- ⑥全額を賭ける :オールイン
- ⑦勝負を降る :フォールド

※ベットされている場合、チェックはできません
※勝負を降らたらチップは戻りません

賭けは親の左隣1人目からスタートして時計回りに行います。フォールドした人以外の全員が同額になるまで何回でも賭けを行います。



◆賭け方の事例 ※左下【図例】4人プレイを引用して解説しています

全員がチェックした場合	ベットの事例 (賭けが2週した場合)	レイズの事例 (賭けが2週した場合)	1人残して全員がフォールドした場合	オールインの事例
賭けスタート 	賭けスタート 	賭けスタート 	賭けスタート 	賭けスタート
賭けが終了	賭けが終了	賭けが終了	ゲームが終了 (A君の勝ち)	賭けが終了
◆解説 全員0枚で同額になったので賭けが終了(成立)します。ゲーム中の次のステップに移ります。	◆解説 参加者全員が同額になるまで何回でも賭けを行い、同額になった瞬間に賭けが終了します。※全員同額になった後にレイズはできません	◆解説 レイズによって2人だけ生き残ったので、次のステップは2人で行われます。	◆解説 A君を残して全員がフォールドしたことで、A君が自動的に勝ちとなります。賭けられたチップ全てを獲得してゲームが終了します。	◆解説 オールインした後も残り的人で賭けは続きます。C君は最後までゲームに参加できますが、チップが無いため、その後の賭けはA君と親で行います。 ⇒A君(または親)が勝った場合 通常どおり、A君が賭けられた全てのチップを獲得します。 ⇒C君が勝った場合 オールインした枚数:2枚(上の例) × 賭け参加人数 :3人 (オールイン時点の人数) ↓ C君の獲得チップ :6枚

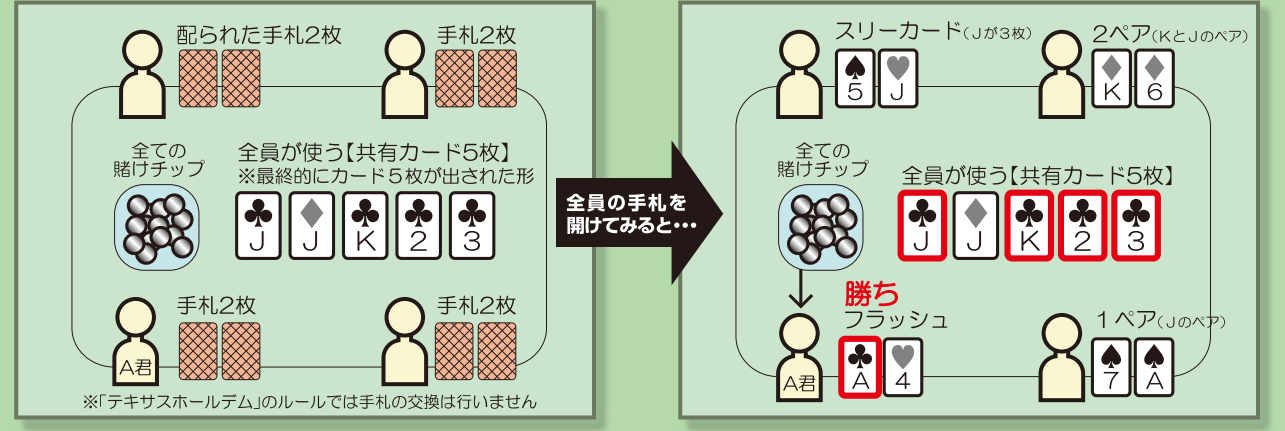
テキサスホールデム

世界で最も普及しているポーカーのルール (カジノで有名なルール)

2~10人ぐらいで遊べます。全日本ポーカー選手権はこのルールで開催されています。

◆勝負の決着の着き方とその例

配られた【手札2枚】と全員が使う【共有カード5枚】を合わせた計7枚から強い組合せの5枚を選び勝負を行います。



◆ゲームの開始と進行

さあ、ゲームスタートです。実際には下記の手順で行われます。

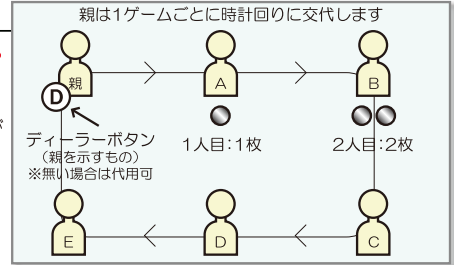
- ①参加料を払う
- ②手札2枚が配られる
- ③1回目の賭けを行う
- ④共有カード3枚を開く
- ⑤2回目の賭けを行う
- ⑥共有カード4枚目を開く
- ⑦共有カード5枚目を開く
- ⑧勝負終了&チップの獲得

【①参加料】※強制的賭けベット

まずはじめに参加料を払います。親の左隣から数えて1人目、2人目だけ参加料を払います。※残りの人は参加料はかかりません
1人目がチップを1枚(最小単位)、2人目がその倍の2枚を払います。

◆専門用語

1人目の参加料:スモールブラインド
2人目の参加料:ビックブラインド (キャリーセットには専用ボタンが付属)



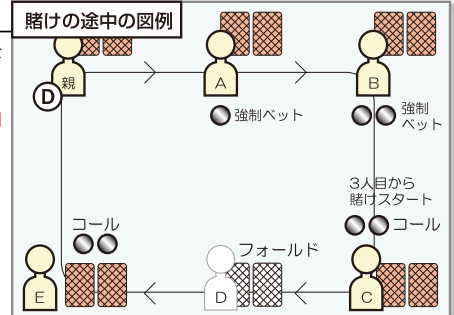
【②手札2枚を配る】

次に、親はカード(手札)を配ります。親の左隣から時計回りに1枚ずつ計2枚を配ってください。そして、各参加者は2枚のカードを確認して1回目の賭けを行います。

【③1回目の賭け】

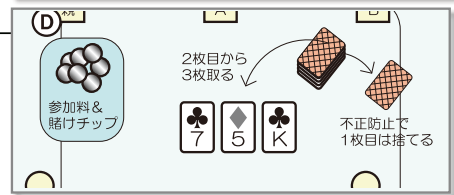
最終的に共有カード5枚が出ることを考えながら1回目の賭けを行います。(賭け方は前ページ参照)
参加料は強制ベットとなるので、親の左隣3人目から賭けを行います。

◆Bさん(ビックブラインド)の賭け
通常の賭けは全員が同額になった瞬間に終わりますが、1回目の賭けでBさんだけ条件が変わります。Bさんの強制ベット2枚で全員が同額になった場合のみ、Bさんだけレイズすることができます。



【④共有カード3枚】

1回目の賭けが終わって初めて共有カードが出てきます。まず3枚が開かれます。親は山札から3枚カードを取り出して中央に広げてください。
※カードを取る時は山札の1枚目は不正防止で捨てて、その後からカードを取り出します。(以降も同様)



【⑤2回目の賭け】

あと2枚の共有カードが出ることを考えながら2回目の賭けを行います。2回目以降の賭けは親の左隣1人目から行ってください。

【⑥共有カード4枚目&3回目の賭け】

2回目の賭けが終わったら、共有カード4枚目を開きます。そのあとに⑥と同様に3回目の賭けを行ってください。

【⑦共有カード5枚目&4回目の賭け】

最後の共有カード5枚目を開きます。そして、⑥と同様に最後の賭けを行います。

【⑧勝負&チップの獲得】

全員同額になったら手札をオープンします。一番強い役を作った人が勝ち、賭けチップ全てを獲得します。親が時計回りに交代して次のゲームに移ります。

◆その他のルール:ドローポーカー

もっとも有名なポーカーの基本ルールです。実際には下記の手順で行います。

- ①参加料
最初に、参加料としてチップを1枚(最小単位)払います。そのあと親は全員にカードを5枚配ります。親の左隣から1枚ずつ計5枚を配ります。
- ②1回目の賭け
各参加者は配られたカードを確認し、カードを交換する前に賭けを行います。親の左隣の人から時計回りに賭けを行い、降りた人以外の参加者全員が同額になるまで賭けをします。
- ③カードの交換
親の左隣の人から1回だけカード交換を行います。カード交換は好きな枚数を交換できます。
- ④2回目の賭け
交換が終わったら②と同様に2回目の賭けをします。
- ⑤勝負&チップの獲得
2回目の賭けが終わったら手札を見せて勝負を行います。強い役を作った人が勝ち、賭けチップ(参加料含む)全てを獲得します。